



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月6日

上場会社名 アイホン株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6718 URL <https://www.aiphone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 康次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 和田 健

TEL 052-228-8181

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,068	4.5	422	—	411	—	317	191.3
2019年3月期第1四半期	9,639	8.8	△79	—	△2	—	109	182.1

(注)包括利益 2020年3月期第1四半期 32百万円 (107.6%) 2019年3月期第1四半期 15百万円 (△97.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	19.49	—
2019年3月期第1四半期	6.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	55,538	46,955	84.5
2019年3月期	57,497	47,314	82.3

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 46,955百万円 2019年3月期 47,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	24.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,600	1.0	700	△30.3	700	△32.8	500	△44.9	30.66
通期	47,300	2.1	2,000	△26.3	2,100	△26.4	1,600	△30.0	98.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	18,220,000 株	2019年3月期	18,220,000 株
2020年3月期1Q	1,909,656 株	2019年3月期	1,909,567 株
2020年3月期1Q	16,310,346 株	2019年3月期1Q	16,310,848 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、高水準の企業収益を背景に設備投資については堅調に推移いたしました。また雇用情勢も引き続き改善が見られるなど緩やかな景気回復が続きました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、日本国内の新設住宅着工戸数は前年同期から若干減少いたしました。既存のインターホン設備等の更新需要は拡大いたしました。海外市場におきましては、米国は業務市場を中心にセキュリティニーズが高く、引き合いが増加いたしました。

このような状況の中で、当社グループはお客様のニーズに応えるべく、引き続き新製品の開発と積極的な営業活動を展開して業績の向上に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高100億6千8百万円（前年同四半期連結累計期間比4.5%増）、営業利益は4億2千2百万円（前年同四半期連結累計期間は営業損失7千9百万円）、経常利益は4億1千1百万円（前年同四半期連結累計期間は経常損失2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億1千7百万円（前年同四半期連結累計期間比191.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	会社名
日本	アイホン株式会社
北米	アイホンコーポレーション
欧州	アイホンS. A. S.、アイホンUK
タイ	アイホンコミュニケーションズ（タイランド）
ベトナム	アイホンコミュニケーションズ（ベトナム）
その他	アイホンPTY、アイホンPTE.

(日本セグメント)

国内の住宅市場につきましては、戸建住宅におきましては、新築では当社の納入時期にあたる住宅着工戸数は前年同期から増加いたしました。一部商品の納入時期の遅延が発生したことや、他社との競争が激しさを増したことによる影響で売上は減少いたしました。一方、リニューアルでは新商品の販売が好調であったことから売上が増加いたしました。しかしながら新築の減少幅が大きく、戸建住宅全体としての売上は減少いたしました。集合住宅におきましては、新築では当社の納入時期にあたる住宅着工戸数が前年同期から減少する中、特に賃貸住宅での競争激化による単価下落などが影響し、売上は前年同期より減少いたしました。一方、リニューアルでは分譲住宅向け新商品の販売が順調に推移したことにより、集合住宅全体としての売上は大幅に増加いたしました。この結果、住宅市場全体といたしましては、売上は増加いたしました。

ケア市場につきましては、新築では病院及び高齢者住宅など販売対象となる物件の着工件数が伸び悩むとともに、高齢者施設にて他社との競争が激化した影響により売上は減少いたしました。一方、リニューアルでは高齢者施設へのIPネットワーク対応ナースコールシステムを軸とした営業活動が功を奏し販売が増加したことから、ケア市場全体といたしましては、売上は増加いたしました。

これらの結果、売上高は88億7千3百万円（前年同四半期連結累計期間比7.0%増）となりました。また、販売費及び一般管理費の減少もあり営業利益は2億3百万円（前年同四半期連結累計期間は営業損失2億8千7百万円）となりました。

(北米セグメント)

アメリカの販売子会社であるアイホンコーポレーションにつきましては、セキュリティニーズが依然として高い水準にある環境の中、工事店への継続的な営業活動が功を奏し、大型商業施設や公共施設及び学校関連へのIPネットワーク対応インターホンシステムの販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

これらの結果、売上高は20億2千9百万円（前年同四半期連結累計期間比7.2%増）となりました。また、営業利益につきましては、グループ間取引価格の変更の影響等もあり6千1百万円（同58.3%減）となりました。

(欧州セグメント)

フランスの販売子会社であるアイホンS. A. S. につきましては、主要販売国であるフランス市場におきまして、新築住宅着工戸数が伸び悩む中、新商品であるWi-Fi対応テレビドアホンのプロモーション戦略が功を奏し戸建住宅での販売が好調に推移いたしました。ベルギー市場におきまして他社との競争が激化しテレビドアホンの販売が伸び悩んだことにより、売上は減少いたしました。

イギリスの販売子会社であるアイホンUKにつきましては、集合住宅システムの販売戦略を強化したことにより販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

これらの結果、売上高は9億8千4百万円（前年同四半期連結累計期間比6.2%減）となりました。また、営業利益につきましては、グループ間取引価格の変更の影響等もあり2千1百万円（同112.7%増）となりました。

(タイセグメント)

生産子会社であるアイホンコミュニケーションズ（タイランド）は、当社グループ向けの製品等を生産・出荷しております。売上高は20億6千7百万円（前年同四半期連結累計期間比11.3%増）、営業利益は8千7百万円（同29.7%増）となりました。

(ベトナムセグメント)

生産子会社であるアイホンコミュニケーションズ（ベトナム）は、当社グループ向けの製品等を生産・出荷しております。売上高は7億2千3百万円（前年同四半期連結累計期間比13.6%増）となりました。なお、営業利益はグループ間取引価格の変更の影響等もあり1千7百万円（同11.9%減）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない販売子会社といたしまして、オーストラリアの販売子会社であるアイホンPTYにつきましては、集合住宅向けシステム及び業務市場でのIPネットワーク対応インターホンシステムの販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

シンガポールの販売子会社であるアイホンPTE. につきましては、テレビドアホン及び業務市場でのIPネットワーク対応インターホンシステムの販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

これらの結果、報告セグメントに含まれない販売子会社におきましては、売上高は2億5千万円（前年同四半期連結累計期間比12.0%増）、営業利益につきましては1千5百万円（前年同四半期連結累計期間は営業損失1千7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は555億3千8百万円（前連結会計年度末574億9千7百万円）となり19億5千8百万円減少いたしました。これは主に、売上高の多い前第4四半期連結会計期間の売上債権の回収が進んだことにより受取手形及び売掛金が22億7百万円減少したことによるものです。

負債は85億8千3百万円（前連結会計年度末101億8千2百万円）となり15億9千9百万円減少いたしました。これは主に、未払費用が8億6千4百万円減少、未払金が7億3千3百万円減少したことによるものです。

純資産は469億5千5百万円（前連結会計年度末473億1千4百万円）となり3億5千9百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が2億3百万円減少、その他有価証券評価差額金が9千6百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では2019年5月8日付決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,645	15,335
受取手形及び売掛金	9,803	7,595
電子記録債権	2,122	2,002
有価証券	901	905
製品	4,302	5,228
仕掛品	1,820	1,734
原材料	3,495	3,563
その他	354	329
貸倒引当金	△68	△68
流動資産合計	38,375	36,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,037	6,009
減価償却累計額	△4,098	△4,132
建物及び構築物 (純額)	1,938	1,877
機械装置及び運搬具	1,993	2,026
減価償却累計額	△1,146	△1,186
機械装置及び運搬具 (純額)	847	839
工具、器具及び備品	7,533	7,521
減価償却累計額	△6,497	△6,537
工具、器具及び備品 (純額)	1,036	983
土地	5,002	4,997
リース資産	138	218
減価償却累計額	△50	△42
リース資産 (純額)	88	175
建設仮勘定	62	8
有形固定資産合計	8,976	8,883
無形固定資産		
その他	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	7,065	6,915
繰延税金資産	1,662	1,701
その他	1,417	1,413
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	10,145	10,029
固定資産合計	19,121	18,913
資産合計	57,497	55,538

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	596	569
買掛金	1,789	1,714
リース債務	28	69
未払法人税等	701	132
製品保証引当金	290	277
賞与引当金	—	478
その他	4,347	2,857
流動負債合計	7,753	6,100
固定負債		
リース債務	66	114
再評価に係る繰延税金負債	118	118
退職給付に係る負債	362	380
その他	1,880	1,869
固定負債合計	2,428	2,482
負債合計	10,182	8,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,388	5,388
資本剰余金	5,407	5,407
利益剰余金	37,640	37,566
自己株式	△3,274	△3,274
株主資本合計	45,162	45,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,865	1,768
土地再評価差額金	△438	△438
為替換算調整勘定	871	667
退職給付に係る調整累計額	△145	△130
その他の包括利益累計額合計	2,152	1,866
純資産合計	47,314	46,955
負債純資産合計	57,497	55,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	9,639	10,068
売上原価	5,262	5,353
売上総利益	4,376	4,715
販売費及び一般管理費	4,456	4,292
営業利益又は営業損失(△)	△79	422
営業外収益		
受取利息	8	11
受取配当金	75	76
受取家賃	12	12
為替差益	29	—
その他	18	4
営業外収益合計	145	105
営業外費用		
支払利息	1	2
売上割引	58	62
為替差損	—	39
その他	8	12
営業外費用合計	68	116
経常利益又は経常損失(△)	△2	411
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	126	—
特別利益合計	126	2
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	2	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	120	414
法人税等	11	96
四半期純利益	109	317
親会社株主に帰属する四半期純利益	109	317

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	109	317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△148	△96
為替換算調整勘定	46	△203
退職給付に係る調整額	8	15
その他の包括利益合計	△93	△285
四半期包括利益	15	32
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、主として当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	北米	欧州	タイ	ベトナム	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	6,496	1,883	1,035	—	—	9,415	223	9,639	—	9,639
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,798	8	14	1,857	636	4,316	—	4,316	△4,316	—
計	8,295	1,892	1,050	1,857	636	13,732	223	13,955	△4,316	9,639
セグメント利益 又は損失(△)	△287	147	10	67	20	△42	△17	△60	△19	△79

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリア及びシンガポール並びに上海の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	北米	欧州	タイ	ベトナム	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	6,816	2,022	983	—	—	9,822	246	10,068	—	10,068
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,056	7	0	2,067	723	4,856	3	4,860	△4,860	—
計	8,873	2,029	984	2,067	723	14,678	250	14,928	△4,860	10,068
セグメント利益	203	61	21	87	17	392	15	407	14	422

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリア及びシンガポールの現地法人の事業活動を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。